

びわこ大津草津景観推進協議会による取組みについて

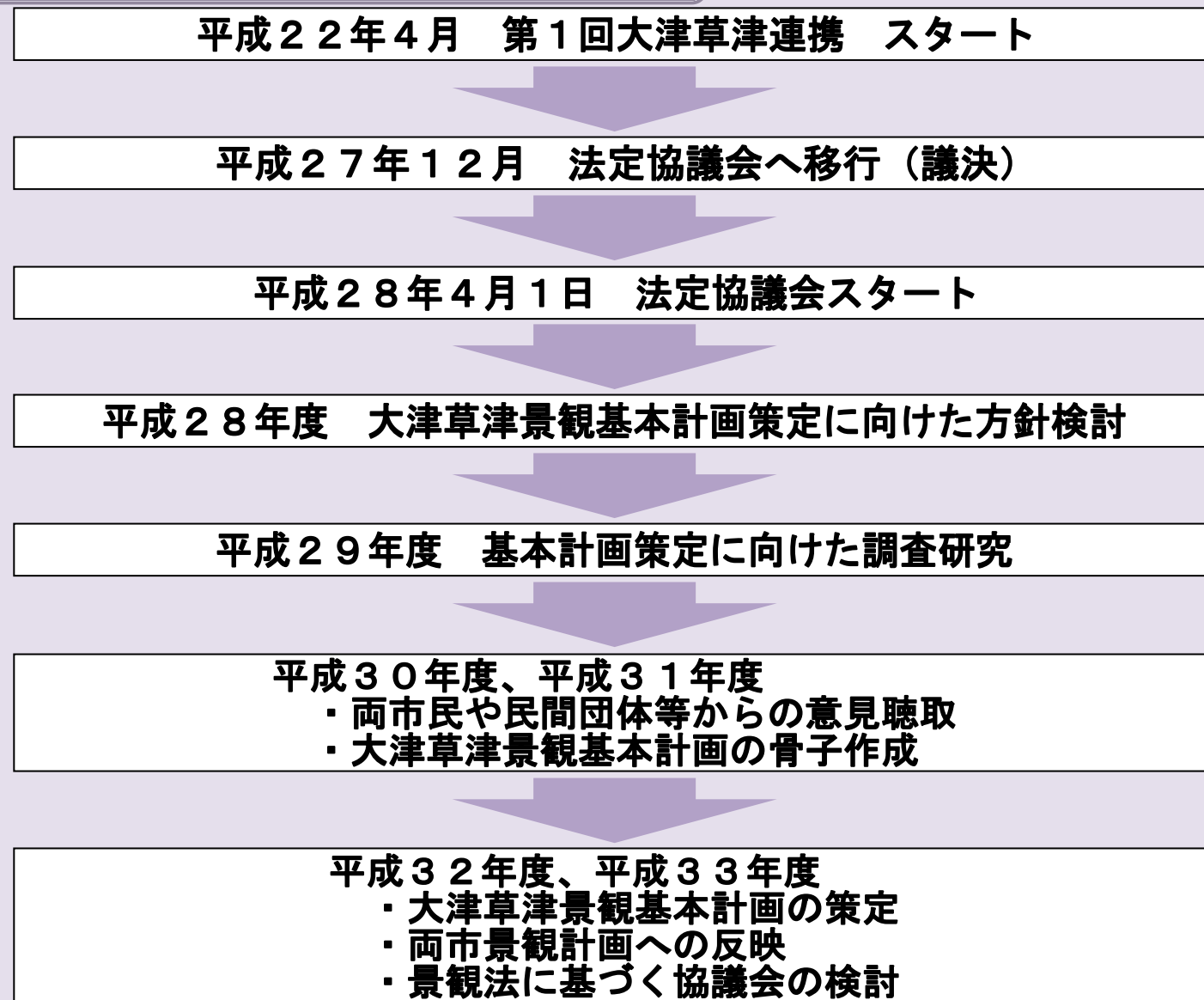
連携の目的

大津市と草津市が広域的な観点から良好な景観の保全及び形成を図り、並びに景観を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、両市が共同して景観基本計画を策定する。

連携の柱

- ① 対岸景観保全のための施策検討
- ② 旧東海道沿道の連続性のある景観形成
- ③ 屋外広告物の統一した規制誘導

全体スケジュール (予定)



今年度の取組み

① 対岸景観保全のための施策検討

対岸眺望ポイントの選定・対岸景観クルーズの実施

- ねらい
互いに眺望しあう「見る」「見られる」関係を重視した眺望ポイントの選定と、その活用により、対岸景観の素晴らしさを一般の方にも知ってもらい、今後の両市の景観保全や景観形成に対する意識の高揚を図る
- 展望
協議会によるポイントの選定
⇒ ポイントを活用した市民啓発事業の実施
⇒ 市民の声を活かした対岸景観保全の施策の展開



高速船「megumi」
琵琶湖汽船株式会社HPより

② 旧東海道沿道の連続性ある景観形成

旧東海道の実態調査・サインのデザイン案の作成

- ねらい
両市統一のデザイン看板（旧東海道の歴史やまちの魅力を発信する案内看板）を充実させることにより、沿道景観の連続性・統一性を目指す
- 展望
デザイン、設置場所の検討
⇒ 周辺住民への取り組み説明
⇒ 看板による連続性ある景観の形成



③ 屋外広告物の統一した規制誘導

両市の屋外広告物の基準内容の比較検討

- ねらい
両市統一の屋外広告物の規制誘導により、沿道景観の連続性・統一性を旨す
- 展望
基準内容の検討
⇒ 条例・規則改正に向けた協議 ⇒ 統一した規制誘導